

スミカフレックス 950HQ

タイプ :	エチレン-酢酸ビニル-バーサチック酸ビニル 共重合樹脂エマルジョン	
特 色 :	スミカフレックス 950HQ は、特にポリオレフィンのような非極性物質に対し、優れたコンタクト接着性を持つように設計されたグレードです。また、プラスチックフィルムやフォームの接着剤原料として幅広く応用することができます。例えば、パッケージング用接着剤や紙・フィルム用粘着剤の用途への展開が可能です。	
主用途 :	コンタクト型接着剤 防水シート接着剤 パッケージング用接着剤 紙・フィルム用粘接着剤	
代表物性 :	外観 不揮発分 (%) 粘度 (mPa・s) PH 平均粒子径 (μm) 密度 (g/cm³) MFT (°C) 粒子荷電 機械安定性 Tg (°C) 引張強度 (MPa) 引張伸び (%)	乳白色 53 ± 1 500 ~ 2000 4 ~ 7 0.6 1.00 0 ノニオン 良好 -30 0.2 > 1700

＜技術資料：スミカフレックス 950HQ＞

1. エマルジョン物性

	エマルジョン物性
外観	乳白色
不揮発分 (%)	53 ± 1
粘度 (mPa・s)	500～2000
PH	4～7
平均粒子径 (μm)	0.6
密度 (g/cm ³)	1.00
MFT (°C)	0
粒子荷電	ノニオン
機械安定性	良好
Tg (°C)	-30

2. フィルム物性

(1) フィルム強伸度

項 目			代 表 値
□ 伸度	常 態	伸度 (%)	> 1700
		抗張力 (MPa)	0.2
	耐 水	伸度 (%)	> 1700
		抗張力 (MPa)	0.2

測定条件

フィルム厚み : 約0.15mm (23℃×65%RH、7日間乾燥し成膜)
 フィルム形状 : ダンベル3号
 常 態 : 23℃×65%RH 7日間乾燥後そのまま測定
 耐 水 : 水浸漬24時間 (23℃) 濡れたまま測定
 引張強度 : 500mm/min

(2) フィルムの耐水性

		S-950HQ	S-400HQ
耐 水 性	溶出率 (%)	2	5
	吸水率 (%)	23	16

測定条件

フィルム厚み : 約0.15mm (23℃×65%RH、7日間乾燥し成膜)
 耐 水 性 : 水浸漬 4日間 (室温)

3. 応用例

(1) コンタクト接着剤への応用

	両面塗布			片面塗布		
	接着力 (N/25mm)		凝集力 (分)	接着力 (N/25mm)		凝集力 (分)
	常態	耐水		常態	耐水	
S-950HQ	23.7	12.0	5	18.9	12.3	5
他社品A	18.6	1.0	120	2.0	2.0	120
他社品B	9.8	0	12	3.9	0	13

測定条件

基材 : フレキシブルボード／EPゴム (防水シート)

貼り合せ : a. 両面塗布

塗布量 120 g/m² × 2 オープンタイム 60分

b. 片面塗布

塗布量 240 g/m² on フレキシブルボード

オープンタイム 60分

圧縮・・・ハンドローラー

養生・・・1week

接着性 : a. 常態接着力・・・180° 角、剥離スピード100mm/min

b. 耐水接着力・・・50℃水中7日浸漬し、室温まで戻した後、
常態同様に測定

c. 凝 集 力・・・接着面積 25×25mm、50℃、500g 静荷重
(せん断)で重りが落下するまでの時間(分)

(2) プラスチック／紙の接着剤への応用

	PET		OPP	
	常態	耐水	常態	耐水
S-950HQ	紙材破	紙材破	紙材破	紙材破
EVA系エマルジョン	界面剥離	界面剥離	界面剥離	界面剥離
VAC/アクリル系エマルジョン	界面剥離	界面剥離	界面剥離	界面剥離
アクリルエマルジョン	凝集破壊	紙材破	凝集破壊	紙材破

実験条件：フィルム基材上にエマルジョンを3mils塗布後、直ちに上質紙

(100 g/m²) を重ねて接着し、室内3日放置後剥離し、破壊状態を観察した。なお耐水接着性は、1時間水浸漬後のWet状態の剥離テストの結果である。

(3) 粘着剤への応用

	粘着力 (ボール No.)	接着力 (N/25mm)		
		S U S	P E	P P
S - 9 5 0 H Q	7	7 . 4	5 . 5	7 . 6
粘着剤用アクリルエマルジョン	1 1	7 . 5	2 . 3	4 . 8

実験条件 : P E Tフィルム上にエマルジョンをD r yで2 5 μmとなるように塗布乾燥後、粘着特性を測定した。各測定項目の内容は以下の通り。

粘着力 : J D o w法

接着力 : 1 8 0 ° 角剥離 (剥離速度3 0 0 mm／m i n)